

日教組香川

2015. 11



発行所 日教組香川教職員組合
 〒760-0008 高松市中野町15-24
 佐藤ビル1F

TEL 087-802-1640
 FAX 087-802-1642
 URL <http://www.jtu-k.com/>
 E-mail jtu-kagw@triton.ocn.ne.jp

発行人 嶋村太伸
 毎月10日発行

全教職員配布号



日教組香川は
 LGBTの人たちとともに

Photo by Motonobu Shimamura

カストロ通り（カストロ地区、英語：Castro District, The Castro）は、カリフォルニア州サンフランシスコのユリーカ・バレー近郊にある地域の名称。1960年代から70年代にかけては労働者階級の住民が多く住む地域であったが、その後アメリカ屈指のゲイタウンへと変化し、今日ではその最大規模の一つとされる。これまでにLGBTに関連した政治運動やイベントなどの舞台ともなり、LGBTコミュニティのシンボリック的存在の一つとなっている。

（ウィキペディアより）

香川レインボー映画祭開催

「性的少数者を身近に感じてほしい」

10月18日(日)、サンポート高松のeーとぴあ・かがわにて、LGBTなど性的少数者をテーマにした「第11回香川レインボー映画祭」が、多くの参加者を迎え開催されました。日教組香川もその趣旨に賛同し、情宣等で呼びかけてきました。その結果、多くの組合員が鑑賞しました。

「身近ではなかなか接する機会はないのですが、映画を通して彼・彼女らの苦悩とその生きざまに、共感することができたかなと思います。」
「『ある家族の肖像』は、三豊市に住んでいるゲイカップルがすごく自然に地域の中に受け入れられ、自分らしく生きている姿に、正直驚きましたが、とても素敵なカップルだと思いました。」
「性別ではないお互いを好きになる感情を大切にする生き方に、何か自分の見方が広がったように感じます。次回の開催を楽しみにしています。」(組合員の感想より)



PROUD代表 藤田博美さん(左)

学校での上映など いかがですか

PROUD代表 藤田博美

この度は日教組香川様からも映画祭にご来場いただき誠にありがとうございました。

今年で11年目を迎えたこの映画祭は、当初よりセクシュアリティに関する当事者のみならず、映画ファンや一般市民に開かれたイベントを目指して開催しています。

今年は、文部科学省からの「性的少数者の児童生徒へ配慮せよ」という通達があったことや、各地で起こり始めている行政によるLGBT支援など、かなり社会的な動きがありましたね。それで私達もこれは働きかけるチャンスと思い、香川県と高松市の教育委員会などの行政関係と、香川県内の高等学校と養護学校に映画祭の案内をしました。その結果、今回は行政職員の方や教職員の方が何名もご来場いただけました。一般の方も多く、全体の4割ほどいらし

ていた印象です。
ロビーでの「どんな性別でも使えるトイレのマーク」の投票も皆さん熱心にしていただいて、たいへん嬉しく思いました。
映画祭での体験を通じて性的少数者を身近に感じていただけたのなら幸いです。今回来られなかった方はぜひ次回においでください。また、中高生にも分かりやすい作品もありますので、学校での上映会などいかがでしょうか。

「教職員一人一人が性的マイノリティについて正しく理解を」(県教育長)

9月30日、香川県議会文教厚生委員会において、高田良徳県議会議員(社民党)が、プラウドと日教組香川の意見を取り上げ、「LGBTの子どもたちへの対応について」質問しました。

質疑応答の要旨は以下の通りです。(質疑応答記録より)
(その様子は高田議員のブログにアップされています。)

高田県議(質問)

「今年4月に文部科学省から出された『性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施について』の通知をどのように受け止め、対応するのか、あるいはもうすでに対応している状況があるのか。」

教職員の研修、正しい知識の普及のための教育現場用のパンフレットの配布と学習など必要と思うのがいかがか。」
西原県教育長(答弁)



高田良徳県議

「通知が出された背景として、平成15年に『性同一性障害者の性別の取扱いに関する法律』が制定され、平成22年には文部科学省から『児童生徒が抱える問題に対しての教育相談の徹底について』の通知が出され、児童生徒の心情等に十分配慮した対応が要請された経緯がある。性的マイノリティの児童生徒への対応については、まずは、教職員一人一人が性

的マイノリティについて正しく理解することが重要であるため、教職員に対して、理解を深めるためのリーフレットを作成し、平成24年4月に全教職員に配布した。また、教職員に対し性的マイノリティの研修会を平成22年度から実施している。」

高田県議(再質問)

「性同一性障害の生徒の多くはカミングアウトしていないと考える。それを見抜く先生を育ててほしい。また、性同一性障害者に限らず、不登校の生徒など、少数者の居場所づくりと彼らを引き上げる教育施策を次期教育基本計画に反映できないか。」

西原県教育長(答弁)

「本県においても過去に性同一性障害の生徒に対し、希望に沿った対応をしてきたが、カミングアウトできない子どももいると考えている。大切なのは普段から子どもたちとしっかり関わり一人一人を見つめていくことである。不登校やいじめを受けている生徒などあらゆる児童生徒にも目を広げて対応できるよう教員の資質向上に努めたい。今後、次期教育基本計画については、多様な意見を聞いていきたい。」

高田県議(要望)

「性同一性障害という言葉の『障害』という言葉に抵抗がある当事者もいる。障害は彼らの問題ではなく、社会で生きていく上で障害があるということを理解してもらいたい。」

教え子を再び戦場に送らない!!

10.21国際反戦デー

「いい戦争はない」と当たり前と言える人を

1966年、総評が「ベトナム反戦統一スト」を実施したことに由来する“10.21国際反戦デー”。今年も安倍内閣によって違憲である「戦争法案」が強行可決されたことにより、全国各地で様々な反戦運動が取り込まれました。県内でも多くの県民にその怒りが広がっていることが、駅頭チラシ行動を通して、多くの仲間から報告されました。

午後6時からの県中央集会では、県社会福祉総合センターにおいて、玉木雄一郎衆議院議員の講演会がたくさんの聴衆を集め、開催されました。冒頭、玉木議員はNHKで中継された安倍首相の「日教組!日教組!」といういわれの無いヤジについて、実はあれだけではなく、よくヤジを飛ばしており、いつかテレビ中継で映されないかと思っていたことを話されました。我々日教組香川にとっても安倍首相のヤジは決して許されない誹謗中傷レベルのものだと怒り心頭です。

玉木議員は「安保法制と立憲主義、日本の未来」と

題して、「権力者が憲法解釈を自分の都合よく変えるのは民主主義国家とは言えない。安倍首相は戦後初めて、立憲主義に挑んだ政権だ。」「法律は国民の行動を規制するもの、憲法は権力者の行動を規制するもの」「現政権は“国民はお上の言うことを聞け”だ。このままでは民主主義が壊れてしまう。大変な危機だ。今回の反対運動の中で、SEALD'sなどの若者が立ち上がった。来参議院選では18歳に年齢が下がる。何としてでも安倍政権を打倒して、すべての人たちに希望とチャンスを持って、そして、『いい戦争はない』と当たり前の人を、多く広げていこう。」と、とても分かりやすく話されました。



講演する玉木雄一郎衆議院議員

大先輩から現場教職員への伝言 戦前・戦中の教育(2)

今こそ「教え子を再び送らないための民主教育」を

香川県退職教職員協議会 会長 大林浅吉

1935年4月、香川県立丸亀中学校へ入学しました。修身は校長先生が教えられ、教育勅語では「一旦緩急アレバ義勇公ニ奉ジ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スベシ」というところが一番大事だと強調されました。各教科の他に軍事訓練があり、丸亀歩兵第12連隊から現役の陸軍少佐の教官が来て厳しい訓練がされました。丸亀中学校では陸軍士官学校や海軍兵学校へ進学するのが大きな目標だったようです。1937年3年生の時、支那事変が始まり軍事訓練は一段と厳しくなり、軍隊の夜間演習に中学生部隊も参加させられました。翌年には善通寺の護国神社の造営の土木工事に一週間勤労奉仕に参加しました。

1935年4月に香川師範大陸科に入学しました。この年、全国で十ヶ所の大陸科が新設され、主として満州の開拓村の教員養成に充てられるものとなりました。高松の香川師範に香川20名徳島8名愛媛8名高知4名の40名が集められました。教育課程は師範学校第2部で履修する教育学・心理学等の上に次のものが特別に加えられました。①中国語②神祇講習(開拓村の神社で祭礼や祝詞ができるように)③救急看護法(無医地区へも赴任するので日赤高松病院で救急法の

理論と実践)④乗馬訓練⑤自動車操縦(高松自動車学校で全員が小型自動車運転免許を取得)⑥複式学級の教育実習⑦丸亀歩兵第12連隊で1週間の宿泊訓練⑧皇紀二千六百年を記念して造営される檀原神宮の造営工事に5日間の勤労奉仕などがありました。

1941年3月、卒業式の直前に赴任地について希望調査があり、範囲は満州・北支・中支・蒙古で私は蒙古を希望しました。一番奥地へ行くのが最もお国のためになると思ったからです。同級生のほとんどは満州の開拓村でした。

(次号へ続く)



大林浅吉プロフィール

- ・1922年4月生まれ 現在93歳。
- ・1941年 香川師範大陸科卒業後、蒙古張北日本国民学校で教鞭をとる。
- ・1943年1月 丸亀歩兵12連隊に入隊。
- ・1945年8月 上海で終戦、翌年2月無事復員。

10. 10四プロ母と女性教職員の会 四国で交流を深めた一日

島が熱い！

高木由紀（さ・神前小分会）

10月10日土曜日に、高知3名、徳島3名香川4名の総勢10名の四国ブロック母と女性教職員の会、略して四プロ母女がありました。

実は日教組香川の嶋村委員長がかねてより、「香川といえば島。二十四の瞳の小豆島なんかええんちがうん〜。」とアイデアをもらっていました。瀬戸内芸術祭の盛況もあり、今、島（嶋？）が熱い！とばかりに計画を立てました。かくいう私（高木）も初任地は小豆島。案内したいところは多々あるのですが、島の中の交通にかなり不便があり、同じ島でも塩飽水軍で有名な丸亀の本島はどうか？と計画変更。参加者に伺ったところ、「島に行きたくて……。」など島を楽しみにしてきた方が多くいらっしゃいました。

まずは丸亀港に集合してフェリーへ。車も人も多く、島との往来は盛んな様子。しかし、島に上陸するとあつという間に人はちりぢりになり、瀬戸大橋を目前にする美しい風景と静寂に包まれました。

時間はすでにお昼時だったので、地魚料理民宿の「やかた船」へ。時間が止まったようなかつての塩飽水軍の栄華を誇った屋敷群の町並みの中にありました。穴子井と地魚の刺身の昼食後、山根文化センターへ。

部落解放同盟丸亀支部青年部の岡田さんや児童館・文化センターの職員の方から地域の文化と歴史についてお話を聞きました。島では人口流出が続く、高齢化が急速に進んでいるとのこと。児童館でも地区、地区外の子どもも含めていっしょに学習会や稲刈りなどの農作業、太鼓集団「荊 いばら」の活動やアイヌやマオリなどのマイノリティとの交流についても教えていただきました。

各県からも、学力テストなどの対策に迫られ、これまで培ってきた人

権学習が急速にかわってきていること、多忙化など厳しい状況の中、苦勞している状況が報告されました。

後半は島巡りのフィールドワークへ。レンタサイクルの自転車組、徒歩組に分かれて島巡り。江戸時代は藩から離れたいわゆる自治地区として、海運業を許された塩飽諸島の中心地の本島。その後も海運の担い手の船員を次々と輩出し、海運で得た



参加者との交流会

財産で凝った作りの寺社や屋敷が点在します。

帰りのフェリーの中でも交流を深め、帰途につきました。

学校現場の声を無視！

財務省案 教職員定数 9年間で約37,000人減

10月26日、財務大臣の諮問機関である財政制度等審議会が開かれ、財務省は次のような主張を行った。

●「教職員定数のベースライン(案)」として、「現在の教育環境を継続させながら、教職員定数を約3万7千人減らせる」と主張。

●「教職員定数に関する疑問として、教員の数が増えれば、①いじめや不登校は解決できるのか、②学力は向上するのか、③教員の多忙化は解消されるのか、をあげている。」

上記の主張に対して、財政制度等審議会委員である連合の古賀前会長は、以下のような内容の意見書を提出し、反論しました。

○「教職員定数のベースライン(案)」では、現在の教育環境を継続させながら、加配定数を3,771人減らせるとしているが、机上の計算による教職員数の削減は行うべきではない。特別な支援を必要とする子どもの増加など、学校現場が抱える問題は多様化しており、教職員の労働環境・労働条件の改善が喫緊の課題となっている。また、学力や生徒指導面の問題は、貧困など家庭環境による要因が複雑に絡んでいることから、教育の質の向上をはかるため、教職員の基礎・加配定数を改善すべきであ

る。

○「授業の専門家である教員」とあるが、教員は授業だけでなく、生徒指導を担い学校運営を行っている。地域や家庭の教育力が低下していることから生徒指導の比重が増しており、教員の多忙化の要因にもなっている。地域人材の参画により教育活動を支援するという提案について異論はないが、地域人材を有効かつ効率的に活用するためには、コーディネートを行う教員の存在が必要であり、教職員定数を適切に確保することが求められている。

さらに、文科大臣の諮問機関である中央教育審議会は、28日緊急提言を行い、以下のように厳しく批判しました。

教職員定数の機械的な削減ではなく、多様な教育課題や地域のニーズに応じた確固たる教育活動を行うために必要な教職員数を戦略的に充実・確保すべきである。

11月17日、全国から日教組の仲間が集まり、民主党、社民党を中心とした国会議員要請を行い、「教職員定数の改善を求める全国集会」を開催します。また、日教組香川も地元選出民主党国会議員、香川県知事、市町長へ「教職員定数改善について」の要請文書を提出します。

徳島県教組から日教組香川への手紙「徳島県教組襲撃事件②」

共生の教育をともに拓こう！

多文化共生社会を実感

四国朝鮮初中級学校は、愛媛県松山市にある四国で唯一の朝鮮学校です。在校生は20名です。近年は、愛媛県内からの児童・生徒がほとんどです。香川からの児童・生徒も瀬戸大橋ができるまではわりといたようですが、香川からは岡山へ通勤可能な範囲ということで、岡山朝鮮初中級学校に入学するようです。でも、去年は中学3年生に香川から生徒が在籍していました。

今年で、学校は創立70周年ということで、さる11月1日に記念式典がありました。同日に、松山で1万人規模の反原発集会があったので、労働組合関係者はほとんど見られませんでした。しかし、約200人ほどの参加者があり、児童生徒による歌や舞踊、卒業生やオモニ会での出し物など、盛りだくさんな内容でした。最後に、出席者全員で記念写真を撮りました。

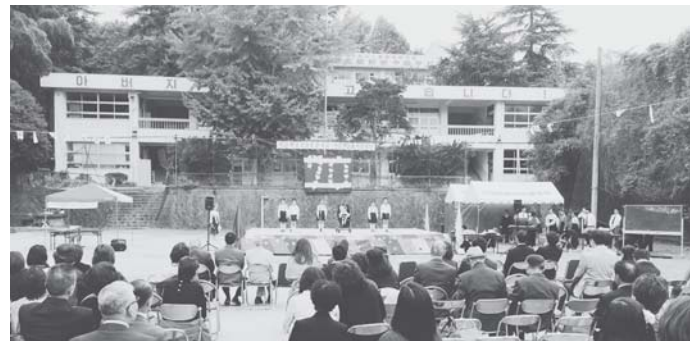
基本的には、イベントは朝鮮語で進行するため、日本で居ながら異文化の異空間的風情がありました。こんな身近にも、多文化共生社会があることを実感しました。また、会場では、徳島県教組支援の横断幕「ヘイトクライムに負けない 共生の教育を拓く いっしょに闘っていきましょう！」への寄せ書きコーナーもあり、本当に、事件後、わたしたち県教組も四国朝鮮学校も互いに「沈黙効果」でしばらく交流が途絶えていましたが、ようやく活動が再開し、横断幕のとおり、ヘイトクライムに負けないで、共生の教育をともに拓いていきたいと思っています。



徳島県教組支援の横断幕への寄せ書き

総勢45名の弁護団で控訴審

さて、11月18日には、高松高裁で第2回口頭弁論があります。第1審は、弁護団としては徳島の弁護士だけの取り組みでしたが、控訴審では、京都朝鮮学校襲撃事件の中心的な役割を果たしていた弁護士有志



四国朝鮮初中級学校創立70周年記念式典

が広く全国に呼びかけてくださり、京都はもちろん、東京、横浜、大阪、福岡、札幌の弁護士の方々が協力してくださり、総勢45名の弁護団を組織することができました。直接、徳島に集まって会議をしたり、また、スカイプ会議をしたり、京都で弁護団会議を開いたり、充実した弁護団会議を行っています。

また、今回の控訴審用にDVDを作成しました。京都朝鮮学校襲撃事件（2009年12月4日）との類似箇所、教育会館前と県教組書記局（2010年4月14日）でのヘイトスピーチ、県庁前（同年4月28日）での「自宅街宣するぞ」、事件後、京都パチンコ反対デモ（同年5月2日）、と15シーンで合計15分46秒にまとめました。日教組香川にも1本提供していますので、まずは、その映像をみて、こんなことが決して許されてはいけないことを共感していただければ、幸いです。

それから、元組合役員の証人尋問等もあり、そのとき、どう感じたのか、現在の状況がどうなのかを説明し、在特会らの「不法行為」を立証します。当日は、前回は上回る人数で法廷をぎっしりで埋め尽くしたと思っています。なお、抽選で外れたとしても、近くの場所で、報告集会を開きますので、裁判の進捗状況やどんな意図で準備書面を書いたのか、相手側の主張はどうだったのか、など、法廷よりわかりやすく解説しますので、みなさん、年休とはなりますが、奮って、参加のほどよろしくお願いします。

徳島県教組 小原伸二

徳島県教組襲撃事件（民事）控訴審 第2回口頭弁論

日時：11月18日（水）集合12時

裁判：13時30分～

場所：高松高裁 高松市丸の内1-36

TEL 087-851-1547

2015人事委員会勧告

給与改定0.32%引き上げ、勤務手当0.1ヶ月増、地域手当0.2%増 多様化解消に働き方の見直しを

10月8日(木)16時より、五者共闘(自治労香川、県職連合、高教組、香教組、日教組香川)は、香川県人事委員会(桑城秀樹委員長)から、「平成27年度 職員の給与等に関する報告と勧告」の説明を受けました。

骨子は3つ

①給与改定

- ・民間給与との格差1,214円0.33%を埋めるため、給与表の水準0.32%引き上げ
- ・地域手当を2%から2.2%に引き上げ
- ・勤勉手当を0.1ヶ月引き上げ。よって年間の期末・勤勉手当は4.20ヶ月分に
- ・今年4月1日から改定

②給与制度の総合的見直し

- ・給与制度の総合的見直しで、給与水準が抑制され

ることから、平成28年度から地域手当を2.6%に。

- ・単身赴任手当の支給額の改定

③人事管理

特に総実勤務時間の短縮では、教育職員について、学校現場のマネジメント能力を向上させ、事務の根本的な見直しや可能な限り徹底した簡素化に取り組むなどが必要である。

日教組香川はこの間人事委員会と多忙化解消について論議を深めました。その結果、昨年度より突っ込んだ報告になりました。これをもとに11月の県教委との交渉に臨みたいと思います。

そこで、今回は人事委員会勧告から私たちの勤務環境に関する部分の抜粋を掲載します。働き方や職場の参考にしてみてください。

平成27年 職員の給与等に関する報告と勧告の概要(抜粋)

Ⅲ 人事管理

3 勤務環境の整備

(1) 健康管理対策の推進

- ・定期健康診断における有所見者の割合が高い水準で推移しているため、健康サポート体制の充実に努めるとともに、職員自らの健康管理意識を向上させていく必要がある。
- ・メンタルヘルスについては、心の不調者の発生防止、早期発見・早期対応、円滑な職場復帰と再発防止といった各段階に応じた対策を講じることが重要な課題となっている。
- ・パワーハラスメントやセクシャルハラスメントについては、防止等のための方針、要綱等に基づき、潜在化しないよう、積極的かつ着実に対策を推進していく必要がある。

(2) 総実勤務時間の短縮

- ・総実勤務時間の短縮は、公務の能率的運営を確保する観点から、また、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現や女性の活躍推進に向けた環境整備を図る観点からも、組織全体で優先的に取り組む課題である。
- ・管理職員は、リーダーシップを発揮して、適切な業務配分、業務の計画的執行等に向けたマネジメント能力を向上させるとともに、職員一人ひとりが、コスト意識を持って自発的に業務改善や効率化に取り組むことが必要である。
- ・教育職員については、学校現場のマネジメント能力

を向上させ、事務の根本的な見直しや可能な限り徹底した簡素化に取り組むなど、働き方の見直しを行うことが必要である。

(3) 仕事と家庭の両立支援

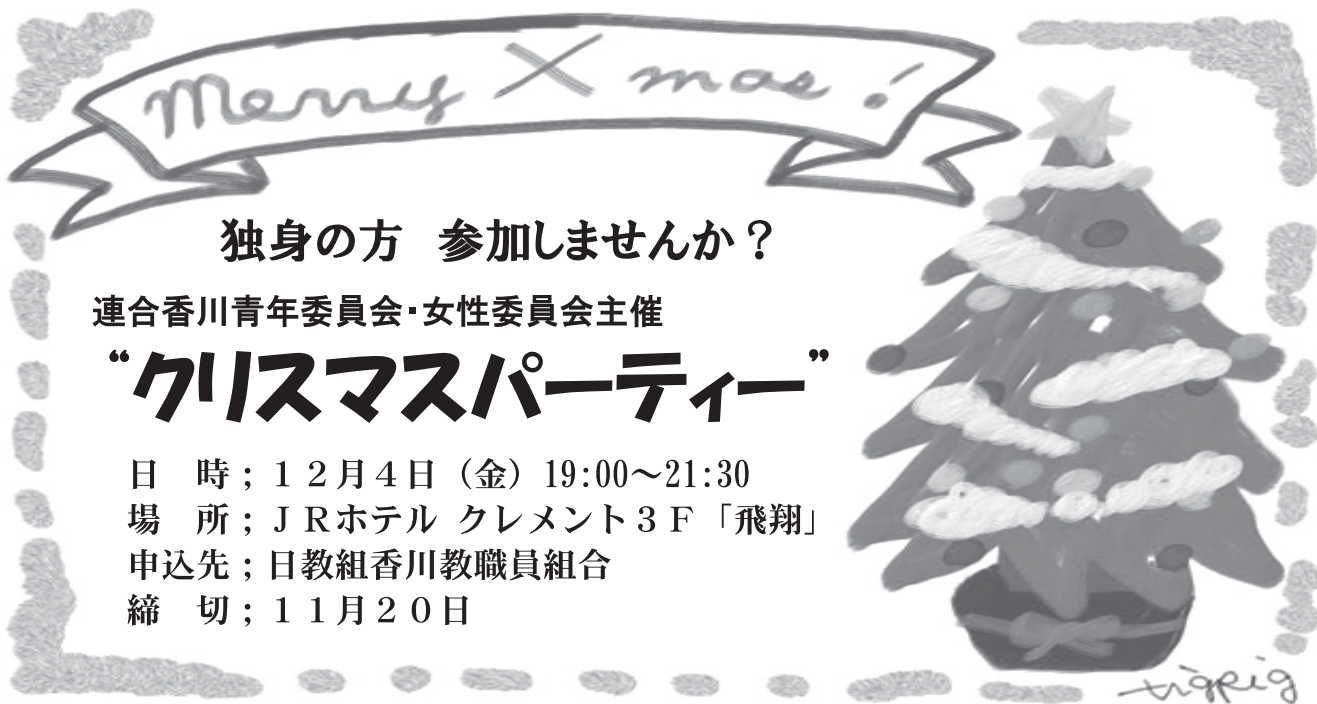
- ・育児については、職場内で休暇・休業制度を利用しやすい環境づくりに取り組むとともに、休暇・休業から円滑に復帰できるよう支援策を充実する必要がある。
- ・介護については、国や他の都道府県の動向を注視しながら、公務における介護休暇等の在り方について検討する必要がある。
- ・フレックスタイム制については、人事管理や公務運営への影響等を考慮するとともに、国や他の都道府県の実施状況等を踏まえ、検討していく必要がある。

4 高齢層職員の能力と経験の活用

- ・高齢層職員の能力と経験を本格的に活用する観点から、業務内容や配置ポスト、モチベーションの向上方策のほか、任用形態等についても検討を進める必要がある。
- ・組織の活力維持を図る観点からは、若手職員の安定的・計画的な確保による組織の新陳代謝も必要であるため、人員構成の特性等を踏まえた計画的な定員管理に努める必要がある。
- ・再任用職員の給与や高齢期雇用の在り方については、国や民間の動向等を注視しながら、引き続き必要な検討を行っていく。

5 公務員倫理の徹底

職員一人ひとりが、職務の内外を問わず、県民全体の奉仕者であるとの自覚と高い倫理観を持って県民の期待と信頼に応えられるよう行動する必要がある。



独身の方 参加しませんか？

連合香川青年委員会・女性委員会主催

“クリスマスパーティー”

日 時；12月4日（金）19:00～21:30

場 所；JRホテル クレメント3F「飛翔」

申込先；日教組香川教職員組合

締 切；11月20日

教職員共済生協の 自動車共済

- 公務使用中の事故は等級据え置きです。等級ダウンしません。
- 公務員としての組合員様の「身分保障」を第一の目的に丁寧に事故対応をいたします。
- 他の自動車保険のように事故有係数を適用していませんから事故有りの方も事故無しの方も同じ等級なら同じ割引率です。

事故で掛金が大幅に上がった方は、ぜひお問合せ下さい。

フリーダイヤル 0120-27-8140(9:00～17:30)



カナリア通信

「冬のさなぎ」

夏、夏休みに入ったところから、我が家のテラスにあったパセリのプランターにアゲハが卵を産み始めました。◇葉を食べつくす勢いで、幼虫が育ちましたが、食べられる葉がなくなると、スーパールの植物売り場などでパセリの苗を買い足しました。◇でも、飼育箱の中というわけでもないのに、さなぎの手前まで育つと「行方不明」に。鳥にやられて見えないところに行ってしまうのか？

◇夏の盛りから秋にかけて、三世代か四世代は育って、十月の最終週にまたさなぎができました。◇最後には全て行方不明になったり、途中で弱ってしまったりしているし：今回はパセリのプランターを室内に移動させました。それから二日、一時室内で行方不明になっていた幼虫が、足元の段ボール箱の側面や窓のカーテンレールのそばでさなぎになっているのを見つけました。◇それからもう十日以上。もし冬越しのさなぎなら、春に羽化です。さなぎと年越しをするのもおもしろいかなと思いはじめています。



Smile, Smart, Safety
日教組香川教職員組合

お問い合わせは

0120-27-5925

メールでのお問い合わせはこちら



行事予定

活動内容

一覧

日教組香川HP リニューアル!! 2015/11/12 Start!

日教組香川新聞



スマホ・タブレットからも見られるようになりました!

2面 香川レインボー映画祭開催

3面 10・21国際反戦デー／大先輩から現場教職員への伝言

4面 四プロ母と女性教職員の会／教職員定数削減!?

5面 徳島県教組からの手紙

6面 2015年人事委員会勧告

7面 お知らせ／カナリア通信

